

東儀秀樹

東儀秀樹によるトーク&ライブ、
雅楽と現代音楽の融合

出演

中村華子(笙)

野護元(龍笛)



©Ayako Yamamoto

近畿地方を代表するふたつの芸能で、贅沢な時間をお楽しみください。

第二部

祇園東・芸妓舞妓舞踊公演

【芸妓】富多愛・叶和佳・富津愈・雛佑・満彩尚・叶久・富葵輪 【舞妓】富瑛梨・満彩音・叶静・叶鈴・叶園・満彩矢 【地方】美弥子・つね和・満彩希・勇ひで
京都五花街の一つ、祇園東歌舞会の
芸妓舞妓による舞踊公演



近畿編 第40回
倉敷音楽祭
The40th
KURASHIKI
MUSIC FESTIVAL

2026 **3/22(日)**

会場 倉敷市芸文館 ホール

時間 開場13:30 開演14:00

全席
指定

一般 **4,000円**

大学生
以下

500円

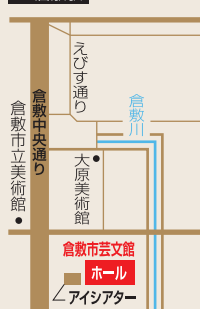
当日各500円増

前売で完売した場合、
当日券の販売はありません。
就学前のお子様のご入場はご遠慮ください。

発売日 | アルスくらしきチケット会員先行発売 12月12日(金) | 一般発売12月19日(金)

主催/倉敷市・倉敷市文化振興財団・TSCテレビせとうち 共催/倉敷市教育委員会
協賛/公益財団法人JFE21世紀財団 後援/岡山県・岡山県教育委員会

JR倉敷駅



ご予約・
お問合せ

アルスくらしきチケットセンター (※窓口での販売はしていません。)

TEL.086-434-0010 (営業時間9:00~17:00 水曜日は休み)

インターネット予約/倉敷音楽祭特設サイト

https://arsk.jp/m-fes



チケット取り扱い
プレイガイド

- チケットぴあ (Pコード:311-890) <https://t.pia.jp>
- ローソンチケット (Lコード:61535) <https://l-tike.com>
- イープラス <https://eplus.jp/m-fes2026/>

最新情報は、ホームページのほか下記のSNSでも配信しています。



@ars_kurashiki



arskurashiki



アルスくらしき



東儀秀樹(雅楽師) Hideki Togi

1959年東京生まれ。東儀家は、奈良時代から今日まで1300年間雅楽を世襲してきた楽家。父の仕事の関係で幼少期を海外で過ごし、あらゆるジャンルの音楽を吸収しながら成長した。宮内庁楽部在籍中は、箏、琵琶、太鼓類、歌、舞、チェロを担当。宮中儀式や皇居において行われる雅楽演奏会などに出演するほか、海外での公演にも参加し、日本の伝統文化の紹介と国際親善の役割の一翼を担ってきた。1996年アルバム「東儀秀樹」でデビュー後、日本レコード大賞企画賞、日本ゴールドディスク大賞 純邦楽・アルバム・オブ・ザ・イヤーなど受賞歴多数。国内外を問わずコンサートを開催し、古典はもとより、ロック、ジャズ、オーケストラなど、ジャンルを超えたコラボレーションと、雅楽の持ち味を生かした唯一無二の表現で雅楽の新たな可能性を切り開く。最新アルバムは“プログレッシブ雅楽”をテーマに、様々な楽器で自在にアレンジした新曲から伝統的な雅楽の名曲まで収めた「NEO TOGISM」。日本の芸術文化の振興に多大な貢献をしたとして令和6年度文化庁長官特別表彰を賜る。

<https://www.togihideki.net> X(旧Twitter): @htogi999



中村華子 Hanako Nakamura

国立音楽大学音楽学学科卒業。笙を宮田まゆみ、多忠輝、雅楽合奏を芝祐靖の各氏に師事。2006年度文化庁新進芸術家国内研修員。伶楽舎メンバーとして活動する他、「Shogirls」「雅楽三昧中村さんち」などのユニットでの活動や、笙のソロ作品やアンサンブル作品の初演や他ジャンルの芸術とのコラボレーションも多い。

<https://hanakonakamura.b-sheet.jp/>



♫野護元 Moriyuki Shimeno

大分県出身。幼少より龍笛を始める。横笛演奏を芝祐靖氏に師事。東京藝術大学音楽学部邦楽科雅楽専攻卒業。安宅賞、アカンサス音楽賞、同声会新人賞の各賞を受賞。国立劇場主催公演、東儀秀樹コンサート、Japonismes 2018 in paris、Music from japan 2025 New Yorkなど国内外の公演に出演。NHK Eテレ「にっぽんの芸能」、「木村多江の、いまさらですが…」などに出演し雅楽器を紹介する。古典のみならず、現代作曲家による新作、ゲーム音楽など様式を問わない幅広い活動を展開し、教育機関への演奏、演奏指導など雅楽の普及活動にも取り組んでいる。雅楽演奏団体「伶楽舎」所属。



祇園東 Gion Higashi

京都には歴史と伝統を誇る花街が5つ(祇園甲部、祇園東、宮川町、先斗町、上七軒)、今なお現存しており、総称して「五花街(ごかがい)」と呼ばれております。本公演には、五花街のうち、祇園東の芸妓舞妓が出演します。江戸時代初め、祇園社(現在の八坂神社)の西門前から鴨川の四条河原にかけて、祇園社にお参りする人に湯茶を提供する茶店ができたことが祇園町の始まりと言われ、約200年前には祇園町一帯が茶屋町となりました。その後、明治14年、祇園町が「祇園東」と「祇園甲部」の2つの組合に区分され、現在に至っております。毎年5月に観亀稲荷神社の宵宮祭が開催され、舞踊の披露や芸妓舞妓総出で来場者をもてなすなど、地域と一体となって祭を盛り上げています。

祇園をどりについて

毎年11月1日から10日間、祇園会館で開催される祇園東の舞踊公演です。毎回オリジナル脚本による長唄、清元の舞踊メドレー、そして、フィナーレでは祇園東界隈の四季を唄う「祇園東小唄」を芸妓舞妓が総出演で華やかに舞い納めます。五花街で唯一、秋に開催される花街の舞踊公演で、錦秋の京都を彩る恒例行事として人気を博しております。

<https://www.gionhigashi.com/>